

学校 番号	66	学校名	飯田 OIDE 長姫高等学校
----------	----	-----	----------------

令和 7 年度学校評議員活用状況報告書

第 2 回学校評議員会 【令和 8 年 1 月 21 日（水）実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

- (1) 全校課題研究発表会見学
- (2) 学校評議員会
 - ① 学校からの報告（学校長・進路指導係・生徒指導係・定時制）
 - ② 協議事項
 - ③ 諸連絡

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- ・全日制課題研究発表会に合わせて学校評議員会を開催し、各学科の専門性を活かした発表会を参観していただいた。
- ・当日は、学校側の出席者を限定し、報告を精選することで協議の時間を十分に確保し、評議員の方からより多くの意見をいただけるよう配慮した。そのため資料を検討していただけるよう事前に送付した。
- ・配布資料として生徒の活動が掲載された新聞記事を集めた小冊子「飯田 OIDE 長姫 Topics」と「OIDE 長姫通信」を作成し、本校の取り組みの成果や評価が確認しやすいように配慮した。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- ・生徒指導に関連して、服装やスマホ等に関してルールづくりに生徒を加えるのは良いことだ。時代や流行りとあきらめず学校には、モラル教育をお願いしたい。
- ・課題研究発表会は、各専門科の特徴を生かした取り組みで素晴らしい。生徒が限られた予算の中で工夫しながら熱心に取り組む姿に感動した。また、生徒のプレゼンが上手であった。
- ・商業科地域人教育の公民館活動では、14 年間続いている取り組みがある一方、課題研究の中には、単年度で終わってしまうものがあり残念である。課題を次世代へつなげるためにも 3～5 年継続した研究をお願いしたい。協力した企業も地域も学校に研究の継続を望んでいる。
- ・鼎名古屋熊地区では、防災の取り組みとして防災士が 10 名いる。地域のためにも生徒に防災士の資格取得を考えてもらえるような取り組みを期待したい。
- ・今年度、1 年生の自転車事故が多かった。事故予防の観点から安全教育の徹底をお願いしたい。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- ・各評議員には継続して各学科の現場見学会や技術指導講習会、商業科の地域人教育等、直接生徒に関わる部分で多様な協力と支援をいただいている。今後更に制度活用の充実を図り、本校に寄せられる期待に応えるべく学びの場を充実させていきたい。